

# 「ふくしまからはじめよう。『食』と『ふるさと』新生運動」 会津地方かわら版

会津地方推進本部(福島県会津農林事務所)

平成30年11月2日(金)発行

## 目次

- 1 会津農林事務所の取組紹介
- 2 頑張る農林漁業者の取組紹介
- 3 会津農林事務所からのお知らせ



## 「ふくしまからはじめよう。『食』と『ふるさと』 新生運動」会津地方かわら版について

会津地方推進本部では、新生ふくしまの『食』と『ふるさと』の実現に向け、農林業者、県民、関係機関・団体が一体となり、様々な運動を展開しています。会津地方の農林業者の取組や、各部・所の取組、各種研修・イベント等の情報を発信するため、会津地方かわら版を発行しています。

## 会津農林事務所の取組紹介



### ○ 「農家民宿モニターツアー(奥会津グリーン・ツーリズム若者交流事業)」を実施しました

過疎・中山間地域の振興を図ることを目的に、奥会津は柳津町にて、農家民宿モニターツアーを実施しました。

このモニターツアーは、都市部の社会人など若者を対象に農作業や郷土料理、地域の伝統文化などを通して奥会津への理解を深めてもらい、その模様をSNSや口コミで広く発信してもらうことを目的に開催しました。

今回は会津地域の企業の若手職員6名が9月19日から20日の2日間にわたり、柳津町西山地区にある「農泊山ねこ」に宿泊し、ブルーベリー植栽などの農作業や蜂蜜採集、料理づくりを体験しました。

ツアー参加者6名のうちほとんどが農作業初体験でしたがオーナーの手本を見様見真似で覚え、テキパキとこなしていました。参加者からは「みんなで1つの目標を達成しようとするところにやりがいを感じた」や「協力して農作業をすることで同期との仲が深まった」など、仕事をする上で欠かせないコミュニケーション能力の向上に役立ったという感想が多くありました。

また、オーナーとの交流や古民家での宿泊を通して居心地の良い時間を過ごすことができ、またぜひ泊まりに来たいとの声もありました。

奥会津には、他にもまだまだ魅力的な農家民宿がたくさんあります。

みなさんも豊かな自然と人情味のある奥会津へぜひ足をお運びください。 【企画部】



—ブルーベリーの植栽作業—



—蜂蜜採集のようす—

○ 第4回「おいしい ふくしま いただきます！」キャンペーンを開催しました



—ライシーホワイトによる会津米のPR—



10月7日(日)、今年度第4回目の「おいしい ふくしま いただきます！」キャンペーンを、道の駅あいづ湯川・会津坂下「第13回湯川村新米祭」にて開催しました。

今回PRのために試食提供したのは、会津産コシヒカリを使用したコシヒカリだんごと、会津坂下産りんごを100%使用したりんごジュースです。同時にコシヒカリだんご生産者の慶徳敬子さんの6次化商品の販売も行い、好評のうちに完売することができました。

さらに、福島県産農産物の消費動向等に関するアンケートにご回答いただいた先着400名様には、会津産のりんごと梨のプレゼントも行いました。みなさん笑顔で受け取られ、好評のうちにキャンペーンを終えることができました。

また、うつくしまライシーホワイトの齋藤若葉さんから会津産新米の美味しさと安全性のPRが行われ、たくさんの方に会津米の魅力を知っていただきました。【企画部】



—会津産のりんごと梨をプレゼント—



○ 『奥会津いいもの物産フェア～秋の市～』開催しました  
【奥会津のいいもの6次化販路拡大事業】



会津農林事務所では、県内の方に「奥会津のいいもの」を知ってもらうことと、販売実績を積み重ねることで、6次化商品の販路を拡大させることに取り組んでおります。

今回は「秋の市」として、9月28日(金)～30日(日)にイオン福島店にて、奥会津の特産品の知名度の向上による販売促進及び観光誘客増につなげるため、奥会津只見川電源流域5町村(柳津町、三島町、金山町、昭和村、只見町)の産品を集めた物産フェアを開催し、事業者の方とともに対面販売しました。

お客様からは、「また来て欲しい！」というお声かけと、「このフェアを通じて奥会津に行ってみたくと思った。」という声を多くいただき、イオンリテール東北カンパニー様においても奥会津のユニークな商品性や需要を感じてもらえ、今後の販路拡大への期待がもてる取り組みとなりました。【企画部】



—ライシーホワイトによるPR—



—生産者アピールタイム—



—手づくり体験(桐札絵付)—

## ○ ふくしまの農育推進事業「田んぼの学校」稲刈りを実施しました

10月4日、喜多方市立関柴小学校の5・6年生児童38名が、5月に田植えを行った学習田にて稲刈りを実施しました。

児童たちは、一年間の活動の中で田植えから稲刈りまでの体験や水路内の生き物調査などを実施し、農業と農村環境、そして食と命の大切さを学びました。

当日は、9月末の台風の影響により足下がぬかる状況でしたが、児童たちは鎌を上手に使い、一つ一つ丁寧に収穫することが出来ました。

参加した児童からは、「収穫した稲をたくさん持って来て、重くてびっくりした。」「稲を刈るために鎌を使ったが、手を切らずに安全に収穫することが出来て良かった。」「将来の夢は農家なので今回の経験を活かしていきたい。」などの感想が出され、参加した児童たちにとって、良い経験と思い出となりました。

今後は、収穫祭で児童たちが育てたお米を食べながら、食と命の大切さについて、さらに理解を深めてもらいます。【農村整備部】



## ○ 先端技術実証ほで収穫作業の実演を行いました！

喜多方農業普及所では、今年度から水稲及び落花生栽培においてICTや先進技術を活用した低コスト化、高収益化、省力化技術の実証を行っていますが、秋の収穫時期を迎え、収穫・調製に係る現地検討会を開催しました。

水稲については、水田メガファームの育成に向け、喜多方市塩川町において現地実証を行っていますが、10月9日、収量・食味センサーを搭載したコンバインにより収穫された籾が、水分やタンパク含有率にもとづき仕分け乾燥されるシステムの実演と意見交換を行いました。

落花生については、省力化による産地再生に向け、西会津町松尾集落において機械化体系の現地実証を10月15日、掘り取り、土落とし、反転を一体的に行うことが出来る収穫機による収穫作業の実演を行いました。

いずれも、農業者の減少や高齢化が進行する中で、省力管理により規模拡大を図る技術であり、現地からも熱い視線を寄せられている技術です。

今後、成果を取りまとめ、実証結果について広報誌等でお知らせしてまいります。

◎喜多方農業普及所ホームページ「普及活動紹介」コーナーでも紹介しています。

<http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/36242a/kitakata3.html>

【喜多方農業普及所】



グレンタンク内で水分・食味値を測定



水分・タンパク含有率により仕分け乾燥



落花生の収穫作業

## 頑張る農林漁業者の取組紹介



### ○ 第59回福島県農業賞受賞おめでとうございます！



9月7日、福島市の杉妻会館において、第59回福島県農業賞表彰式が行われ、会津地方からは喜多方市の株式会社五十嵐ファーム様、磐梯町の菊地清一・裕美子御夫妻、会津坂下町の有限会社会津みずほ農場様が受賞されました。

株式会社五十嵐ファーム様は、平成9年に和牛肥育を、平成13年に繁殖部門を始め、分娩監視カメラの導入や大型機械での飼料作物栽培など労力軽減及び低コスト化を実現していることが高く評価され、農林水産大臣賞と併せて受賞されました。五十嵐社長は「農業経営のモデルとしてICTの普及や規模拡大などに取り組みたい。」と今後の目標を語りました。

菊地御夫妻は、梱包機や収穫機を導入し、労力の軽減と作業の効率化を両立して高品質なホウレンソウの安定生産を確立した経営が評価されました。お二人は「手間を惜みず、良いものを作り続けたい。」と抱負を語りました。

有限会社会津みずほ農場様は、収穫期の異なる十種類の水稲を作付し、生産性を向上させるとともに、夏から晩秋にかけての長期収穫を可能にしたことなどが評価されました。猪俣社長は「栽培面積を拡大し、地域農業を守っていく。」と意欲を新たにしました。

受賞された皆様が、今回の受賞を励みに地域農業の担い手として、さらなる経営発展を実現されることを御期待いたします。【農業振興普及部】



前列左より、菊地裕美子様、菊地清一様、(株)五十嵐ファーム 五十嵐早紀恵様、五十嵐貞雄様、野内会津農林事務所長、(有)会津みずほ農場 猪俣泰司様、武田修様

### ○ 会津若松市が平成30年度「ふれあいの森林づくり」優良市町村に選定。



### ○ 大戸小学校がみどりの奨励賞「国土緑化推進機構理事長賞」を受賞。



会津東山自然休養林内の自然観察

会津若松市は緑の募金を活用し各種イベント、会津東山自然休養林内の遊歩道の整備、毎年市民を対象とした森林浴等を開催しています。

さらに、市内の荒廃化が進む手入れ不足が顕著な森林について、毎年開催される植樹祭を通じ、一般市民等との共同作業により緑地造成を行っています。

この度、このような緑化啓蒙活動が広く評価され、「ふれあいの森林づくり」優良市町村に選定されました。表彰は「第42回全国育樹祭」(H30.11.18 東京開催)において行われます。



また、今年6月に開催された、緑の少年団表彰審査委員会において、会津若松市立大戸小学校緑の少年団が、みどりの奨励賞「国土緑化推進機構理事長賞」に選定されました。

同校は、長さ80メートルの花壇や通学路であるフラワーロードのデザインから手入れ、地域の施設にプレゼントするためのプランター栽培、街頭での緑の募金活動など緑化による交流活動を積極的に行っています。

全国育樹祭の前日に開催される「全国緑の少年団活動発表大会」で活動内容の発表と、表彰が行われるとともに、全国育樹祭にも出席することになっています。【森林林業部】



大戸小学校緑の少年団による長花壇の手入れ



## 会津農林事務所からのお知らせ



### 『平成30年度会津地域6次化商品づくり支援事業』の経過報告 及び『あいづ“まるごと”ネット 第2回交流会』のご案内



会津・南会津地域の6次化商品づくりを支援するため、新商品や改良を希望する事業者様を募集したところ、6事業者12商品の応募があり、第1回検討会議を10月9日に開催しました。

今回はアドバイザーとして、小売店の方を中心にお願いし、それぞれの商品の希望販売先や食シーンに応じて、販売するために必要な視点などからアドバイスをいただきました。

◎ 御協力いただきました小売店の皆さまありがとうございます。

『会津若松駅前食品館ピボット』

『生活協同組合コープあいづ組合』

『あいづ「道の駅」交流会』



今後、会津若松市内で実施するテストマーケティングを目標に、第1回の助言を受けてブラッシュアップしていただき、下記交流会において第1回検討会議のアドバイザーや当交流会総合アドバイザー、交流会参加者から改良商品にかかる助言をいただく「第2回検討会議」を、標記交流会において実施します。

- 日 時:平成30年11月28日(水) 13:30～15:30
- 場 所:道の駅あいづ 湯川・会津坂下
- 内 容:6事業者による商品のプレゼンテーション、試食の上評価していただく。  
\* 詳細はおって「あいづ“まるごと”ネット通信」でご案内いたします。

会津の逸品を知るまたとない機会ですので、ふるってご参加ください。

「あいづ“まるごと”ネット」入会のご案内は同封(添付)チラシまたは下記URL

→ <https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/36240a/aizumarugotonet-6.html>

～支援商品の一例～



○ 「就農相談会INあいづ」を開催します！！



会津地域で就農または農業法人への就職を希望する方を対象に、下記により相談会を開催します。相談会では、就農時における支援策や作物毎の解説等様々な相談に対応する予定となっていますので、就農を考えている方は、是非御参加ください！！

- 日時:平成30年11月17日(土)12:30~16:00
- 会場:会津若松市 ワシントンホテル「飛翔の間」及び 現地
- 主催:福島県会津農林事務所
- 連絡先  
福島県会津農林事務所農業振興普及部 担当:大高  
TEL: 0242-29-5305
- 相談会の詳細は、下記 URL(チラシ)からも  
ご覧いただけます。

<https://www.pref.fukushima.lg.jp/uploaded/attachment/293934.pdf>



○ 楽しく撮って広めたい！

『あいづ“いいもの”フォトコンテスト』 写真募集中♪



会津・南会津の農林水産加工品に親しみと魅力を感じてもらうため、写真を募集しています。

おかげさまでInstagramのフォロワー100人超えました！  
自薦もどしどしお待ちしております！

○募集テーマ

「素敵！」「美味しい！」「面白い！」「土産品にした！」  
「使い方・食べ方提案！」など、商品映え(インスタ映え)する写真例)会津産のお米を使用したお菓子

○応募期間：8月1日(水)~12月31日(月)

○応募締切：12月31日(月) \*当日消印有効

○応募方法

① 持参・郵送

チラシ裏面「応募用紙」に写真(L-版程度)貼付

② Instagram

あいづ“いいもの”フォトコンテスト公式アカウント

(@aiduiimono)をフォロー後、指定ハッシュタグ

「#あいづいいもの2018」を付けて投稿

(キャプションに商品名と購入先の記載をお願いします)

【企画部】



【ご意見・お問い合わせ】

会津地方推進本部事務局

(福島県会津農林事務所企画部地域農林企画課内)

〒965-8501

福島県会津若松市追手町7番5号(会津若松合同庁舎2階)

TEL (0242)29-5369 FAX (0242)29-5389

E-mail:kikaku.af04@pref.fukushima.lg.jp

